

会 告

昭和 35 年度第 60 回秋季講演大会御案内

昭和 35 年 7 月 1 日

会 員 各 位

日本鉄鋼協会会長 浅 田 長 平

本会は来る 10 月 3 日 (月) 4 日 (火) 5 日 (水) の 3 日間札幌市において第 60 回講演大会を、また日本金属学会と連合で 3 日午後 1 時 30 分より特別講演会、同 6 時より懇親会、6 日 (木)・7 日 (金) の両日札幌市および室蘭市付近の主要工場その他の見学会を開催いたします。

御出席の方は下記要領を御覧の上奮つてお申し込み下さい。

記

申込締切期日 昭和 35 年 8 月 20 日 (厳守)

会 場 学術講演会—北海道大学工学部 (札幌市北 12 条西 8 丁目)

特別講演会—北海道大学クラーク会館

懇 親 会—産業会館 (札幌市北 1 条西 2 丁目)

日 程 昭和 35 年 10 月 3 日 (月) 午前 9 時より講演会

午後 1 時 30 分より特別講演会

午後 6 時より懇親会

10 月 4 日 (火) } 午前 9 時より講演会

10 月 5 日 (水) }

10 月 6 日 (木) } 見学会

10 月 7 日 (金) }

出席申込 (1) 別紙申込書に記載事項御記入の上

懇親会費 500 円 (出席希望者のみ)

見学費 850 円 (出席希望者のみ)

見学地宿泊費 (別掲標準料金参照、見学第 1 班・第 2 班参加者のみ) をそえ (現金または小為替) 協会 (本部) あてお送り下さい

(2) 懇親会と見学会の出席票は見学会抽せん後お送りいたします。

(3) 懇親会費・見学費は整理の都合上御欠席の場合も返却いたしません。

集 合 出席会員は本会制定の会員章 (まだお持ちにならない方は当日受付でお求め下さい) を御着用の上、

10 月 3 日午前 9 時までに札幌市北海道大学本会会場に御集合下さい。

懇 親 会 会場の都合がありますので、御出席の方は必ずあらかじめお申し込み下さい。

見 学 (1) 別掲見学案内を御覧の上お申し込み下さい。申し込みと同時に見学費と見学地・宿泊費 (第 1, 2 班参加者のみ) を納入していただきます。これは見学者の実数を正確に知るためと、見学地の宿舍をできるだけ確保するためであり、見学費はバス代と中食費に当てます。この費用の前納のない申し込みは無効といたします。

(2) 第 4 班参加の方は当日別にバス代として 60 円を申し受けます。

(3) 各班の定員が今回は僅少ですから、御希望にそえぬ場合がかなりあると思われます。必ず締切までにお申し込み下さい。締切後抽選により見学者を決定します。

(4) 見学工場の都合または参加人員の都合などによつて見学をやめるか、または見学班の変更をすることがありますので、あらかじめ御了承下さい。

(5) 第 1, 2 班参加者の宿舍については、9 月 20 日頃までに各自宛御通知申し上げます。ただし、旅館の変更または室割などの御希望についてはお世話いたしかねますので、各自交通公社または旅館と御折衝下さい。

(6) 締切後または見学当日の申し込みは応じられません。

(次頁につづく)

(7) 登別温泉・洞爺湖温泉の宿泊標準料金
(1泊2食付)はつぎのとおりです。

	A級	B級	C級
登別温泉	1,700円	1,500円	
洞爺湖温泉	1,500円	1,400円	1,200円

宿舎予約 (1) 札幌市ならびに定山溪温泉の予約申し込みは各自地元交通公社または札幌市交通公社(札幌市北1条西3丁目)を通じ手続をお取り下さい。時節柄混雑いたしますので、出席申し込みと同時に予約手続をおとり下さい。

(2) 札幌市ならびに定山溪温泉の宿泊料金
(1泊2食付)はつぎのとおりです。

A級	B級	C級
1,500~1,800円	1,200~1,300円	700~800円

昭和35年度 日本鉄鋼協会 日本金属学会 連合秋季講演大会役員

(順序不同・敬称略)

顧問

町村 金五	北海道知事
杉野目晴貞	北海道大学学長
原田 与作	札幌市長
東 澄夫	札幌通商産業局長
那須 正信	北海道商工部部長
広瀬 経一	札幌商工会議所会頭
早川 昇	王子製紙株式会社苫小牧工場長
喜々津信一	函館ドック株式会社室蘭工場長
宇野 直之	日鉄鉱業株式会社北海道鉱業所長
佐藤 正義	富士セメント株式会社社長
佐藤 健二	北日本鋼機株式会社専務
緑川 林造	北海道工業試験場長
大坪喜久太郎	室蘭工業大学学長

実行委員長

佐山 励一	富士製鉄株式会社室蘭製鉄所長
-------	----------------

実行副委員長

伊沢 正宣	日本金属学会北海道支部長
村田 巖	日本鉄鋼協会北海道支部長
皆川 孝光	株式会社日本製鋼所室蘭製作所所長
浅見 義弘	北海道大学工学部長
原田 準平	北海道大学理学部長

実行委員

金森 祥一	北海道工業試験場機械金属部長
寺谷 茂雄	〃 選鉱製錬部
長岡 金吾	〃 機械金属部第二科主任
水本 吉郎	札幌市経済部長
佐藤 貞	北海道商工部工業課長
五十嵐武雄	北海道商工部工業課重工業係長
萩原 巖	北海道大学工学部教授
西 成基	〃 教授

久野 陸夫	北海道大学工学部教授
吉井 周雄	〃 教授
岡本 剛	〃 教授
丹羽貴知蔵	北海道大学理学部教授
宮原 将平	〃 教授
川村 信一	室蘭工業大学 教授
西田 恵三	〃 助教授
伊佐治勝利	株式会社日本製鋼所室蘭製作所 取締役副所長
鍵和田暢男	〃 第1工務部長
山下 宏	〃 製鋼部長
下田 秀夫	〃 研究所長
前川 静弥	〃 研究所第2部長
館野 万吉	〃 鍛圧部長
久保 重惣	〃 札幌出張所長
斎藤 芳男	〃 研究所員
平松 一允	富士製鉄株式会社室蘭製鉄所管理部長
横山 俊造	〃 製鉄部長
田村純治郎	〃 製鋼部長
種村 正	〃 化工部長
森永 孝三	〃 研究所長
豊田 茂	〃 製鋼部副長
中島 長久	〃 製鉄課長
前田 正義	〃 製鋼課長
田島喜久雄	〃 研究所研究員
池野 輝夫	〃 研究所研究員
三沢 太郎	〃 札幌出張所長
下田 耕司	〃 研究所事務掛長
木本 市造	北海鉄板株式会社取締役
高橋 長之	豊平製鋼株式会社社長
西本 嘉一	北海道農機具株式会社社長

見 学 案 内

班	定員	日程	見学箇所	所在地	集合	費用	備考
1	100	6日	支笏湖 王老アイヌ部落 白登別温泉	苫小牧市 幌別町	8°00' 札幌市 テレビ塔下	見学費 850円 (宿泊費を 含まず)	札幌～登別温泉 (貸切バス) 登別温泉宿泊
		7日	日本製鋼所室蘭製作所 富士製鉄室蘭製鉄所	室蘭市	9°00' 登別温泉		登別温泉～室蘭 (貸切バス) 解散 16°00'
2	50	6日	定山溪温泉 日鉄鉱業(仲洞爺) 日鉄鉱業(虻田) 洞爺湖温泉	虻田郡	8°00' 札幌市 テレビ塔下	見学費 850円 (宿泊費を 含まず)	札幌～定山溪～ 中山峠～洞爺湖 (貸切バス) 洞爺湖温泉宿泊
		7日	富士製鉄室蘭製鉄所 日本製鋼所室蘭製作所	室蘭市	8°00' 洞爺湖温泉		洞爺湖～室蘭 (貸切バス) 解散 16°00'
3	50	6日	豊平製鋼 北日本鋼機 農試験産部 寒学学院 藻岩山観光	札幌市	8°30' テレビ塔下	見学費 850円	全コース貸切バス月 寒学院にてジンギス カン鍋により中食 解散 16°00'
4	50	7日	富士製鉄室蘭製鉄所 日本製鋼所室蘭製作所	室蘭市	10°00' 東室蘭駅		全コース貸切バス 解散 16°00'

- 備考: (1) 見学定員は鉄鋼・金属両会合計といたします。
 (2) 3・4両班見学希望の方はその旨申し込み下さい。
 (3) 4班参加者は当日バス代 60 円を申し受けます。
 (4) 札幌～東室蘭間国鉄利用急行券とも 550円(3等) 1,330円(2等)

.....切.....取.....り.....線.....

日本鉄鋼協会第 60 回講演大会出席申込書

会 員 別	名誉	維持	賛助	正	学生	(該当を○で囲んで下さい)	
名 氏 (ふりがな)							
勤務先 (住 所)							
職 名(なるべく詳細に)							
自 宅(連絡先を自宅とする方に限り)							
会 費(該当を○で囲む) こと	懇親会費	見学費	見学宿舎費	計	同時郵送 (小為替 現金書留)		
	円	円	円	円			
見 学 希 望	班	希望 順位	宿泊 要否	宿 泊 料			
	1			登別 A (1,700円) B (1,500円)			
	2			洞爺 A (1,500円) B (1,400円) C (1,200円)			
	3						
	4						

備考: 申込は 1 人 1 枚に限ります。申込は必ずこの様式によつて下さい。

分析化学および応用分光学に関する 第12回ピッツバーグ会議について

(The Twelfth Pittsburgh Conference on Analytical Chemistry and Applied Spectroscopy)

表記の国際会議が、1961年2月27日～3月3日まで米国ピッツバーグ市において下記要領により開催されるについて同会議事務局より周知方依頼がありましたので会員各位にお知らせします。

記

1. 期 日: 1961年2月27日～3月3日
2. 場 所: 米国ペンシルバニア州ピッツバーグ市 Penn-Sheraton Hotel.
3. 原論文の提出予定数:
分析化学および分光写真学の全般並に分析に応用される原子核学に関するもの約 150 編
4. シンポジウムとその題名:
シンポジウムは“光学と分光写真学における新分野”と題しピッツバーグ会議とアメリカ光学協会の共催によって行なわれる。
5. 提出用アブストラクトの種別:
第1—プログラム掲載用. 制限語数 150 語
第2—論文の評価と分類に資するもの. 約 500 語に制限 } 各々3通提出のこと
6. アブストラクトの提出締切期日: 1960年10月15日
7. アブストラクトの提出先: 著者名と現住所, およびその研究のなされた研究所名を記載の上下記宛送付のこと
Dr. William F. Harris, Program Chairman, The Twelfth Annual Pittsburgh Conference, Research Laboratories, Westinghouse Electric Corporation, Pittsburgh 35, Pennsylvania, U.S.A.
8. 分析用最新式器具展示会: 75 社以上から分析用新器具, 設備および化学薬品が展示される予定。

「鉄と鋼」増刊号の発行について

かねて本誌「鉄と鋼」には鉄鋼技術共同研究会報告欄が設けられ、鉄鋼技術共同研究会の部会、分科会の活動状況が報告されておりますが、ページ数に制限があるため研究成果の詳細は紹介されていません。共同研究会の各部会、分科会では従来研究成果を取纏めて報告書を発行しておりましたが、主として部会、分科会内に配布されておりましたので、貴重な資料が十分に利用されない憾みがありました。

本会では鉄鋼技術研究会の実行委員会の要請により、同研究会の部会、分科会の報告書を会誌「鉄と鋼」の臨時増刊号として刊行し、**会員に無償配布**することとなりました。その刊行に要する経費は、本年度は八幡製鉄渡辺記念資金を以て充てることとなりました。第1回としては製鋼部会鑄型分科会報告書が来る7月下旬に「鉄と鋼」Vol. 46, No. 8として刊行されます。本年中にはさらに特殊鋼部会報告書が臨時増刊号として刊行される予定です。

「鑄型分科会報告書」別冊の有償頒布について

上記掲載の通り鑄型分科会報告書は「鉄と鋼」Vol. 46, No. 8として刊行、本会会員に無償配布されますが、この報告書に関連して、鑄型に関する参考文献、各社鑄型の形状と寸法並びに造塊工場配置図など鑄型分科会で編集したものを同報告書別冊として刊行、有償頒布することとなりましたが部数に限りがありますので、希望の方は下記によりお申込下さい。

記

- 頒 価 1部 200円(送料を含む) 予定ページ数 B5版 90~100ページ
申込期限 8月15日
申込方法 「鑄型」別冊と明記し、現金書留または小為替により代金をそえて協会事務局あてお申込下さい

第11回塑性加工講演会講演募集

本年も例年のとおり本会ほか5学協会共催の下に塑性加工講演会を開催します。講演希望の方は下記の要領によりお申込下さい。

- 開催日 昭和35年11月16日(水)第4回塑性加工シンポジウム、
17日(木)、18日(金)第11回塑性加工講演会
会 場 京都大学楽友会館
申込締切 昭和35年8月31日(水)
申 込 先 各所属学協会あて
申込方法 はがきを利用「第11回塑性加工講演会講演申込」と題記し、(1)題目、(2)50字以内の概要、(3)所要時間(20分以内)、(4)スライドの有無、(5)氏名・所属学協会・会員資格(連名の場合は講演者に*印)、(6)勤務先、(7)通信先、などを記入して、上記申込先へ。
前刷原稿 原稿は600字詰原稿用紙に図や表をはりつけて8枚以内に墨書きする。超過は認めない。前刷は原稿を写真縮尺してオフセット印刷にする。
詳細執筆要領、原稿用紙は日本機械学会から後日改めて講演申込者あて送ります。
提出期限: 10月10日(月)
付随行事 11月19日(土)には市内遊覧を実施の予定です。御期待下さい。
第4回塑性加工シンポジウム講演募集
板材のプレス成形性および新しいプレス成形法に関する研究成果、調査資料などの総合報告。
申込方法は上記に同じ、ただし、申込締切は8月20日(土)